わんにゃん広場

No.100

令和3年3月15日
(一財)滋賀県動物保護管理協会
滋賀県湖南市岩根 136-98
☎0748-75-6522

よくある動作・しぐさで読み取る

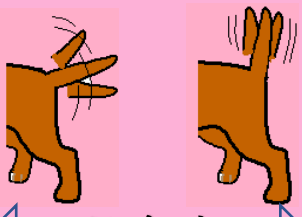
～犬の気持ち～

犬種によって、尻尾の高さは異なります。左図のように、ボーダーコリーなどの牧羊犬の尻尾は他の犬種と比べて、平常時の状態が下がり気味です。

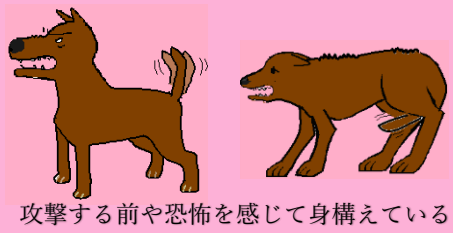
尻尾の振り方・尻尾の高さ

尻尾を振る速さは興奮度を、尻尾の高さは自信の有無を表します。尻尾を振る速さが速いほど興奮度が高く、尻尾の位置が高いほど自信があることを表します。

あり ⟷ 自信 ⟷ なし



低い ⟷ 興奮度 ⟷ 高い



攻撃する前や恐怖を感じて身構えている時にも尾を速く振ることがあります。

目の開き方・耳の傾き・口の開き方

リラックス

警戒心がなく
おだやかな状態

人や犬などお気に入りを見つけたときなど。

オッ！

興味がありそうなものを見つけた。

ムムッ

懐疑的。少し不安を感じている。

来ないで！

恐怖を感じ、身構えている。

カーミングシグナル

アクビ・口の周りをなめるのもシグナルのひとつ。

カーミングシグナルのカームは英語の calm で「落ち着く」「鎮める」などを意味します。

人や他の犬などに対して落ち着いてほしい時や自分自身を落ち着かせたい時に全身や体の部分を使って信号を出すボディランゲージをカーミングシグナルと呼びます。相手（人や他の犬など）からの不快感・脅威を感じていることを伝えて相手を落ち着かせようとしたり、ストレスや不安を感じた時や自分自身を落ち着かせたりするために早い段階で現れます。

急に座ったり、地面の匂いを嗅ぎはじめたりすることもシグナルのひとつ。

愛犬に対して普段よりも強い口調で接したときなどに愛犬がアクビをしたり、急に地面の匂いを嗅ぎ始めたりしたことがないでしょうか？この行動は決して飼い主を馬鹿にしているのではなく、「落ち着いてください」の信号（シグナル）を発している可能性があります。この信号（シグナル）が見られたら少し口調を和らげたり、間を取ったりしてみましょう。

カーミングシグナルは人が犬に対して使うこともできます。愛犬が興奮して落ち着かない時などに口を大きく開けてアクビをしているようにすると、落ち着いてくれるかもしれません。

アクビや地面の匂いを嗅ぐだけでなくカーミングシグナルは 27 種類あるとされており、そのうちのいくつかはアクビなどのように人が犬に対して使うこともできます。愛犬のシグナルを読み取り、愛犬に対してシグナルを使うことで愛犬との関係が更に良くなるかもしれません。

体を振るシグナルも散歩やお出かけ前によく出ます。

※本当に眠い時のアクビや体についた異物を振り落とすために体を振るなど、すべてがシグナルとは限りません。直前・直後の状況からシグナルかどうかを判断します。

私の相棒

滋賀県動物保護管理センターの柵の中に 10 数匹の子犬達。
真っ白の子犬が一番人気の垂れ耳の子犬の首に噛みついていました。
職員さんが慌てて引き離し「紀州犬の血が入っている」といったことを話し苦笑いされていました。
そして譲渡希望者達皆さんは冷めた視線で見てました。そんな中私は「とても元気な仔！」と思ったのです。それがユキとの出逢いです。
ユキが何よりも好きなことは散歩でした。底なしの体力で、半日歩き続けたこともありました。
私はクタクタに疲れてしまうのですが、ユキはずっと楽しそうに先頭を歩くのです。
私が辛いことがあり泣いていても、体調を崩して寝込んでいてもお構いなしに毎日毎日「散歩に連れていけ」アピールをします。
そんな全く空気を読まない性格に逆に心が救われました。
３月 12 日には 18 回目の家族記念日を迎えられることを楽しみにしていました。
しかし、昨年の 12 月に天国に旅立ちました。
寂しいですが、きっと天国でも散歩を楽しんでいるのではないかと思います。

ペンネーム　ユキの飼い主

～わんにゃん広場１００号を迎えて～

わんにゃん広場は年４回、犬や猫を飼育する上で知っておきたいポイントや、県内で開催予定のイベント・動物愛護・健康に関する情報や当協会の事業報告、センターから譲渡により新しいご家庭に迎え入れられた犬猫たちのその後の様子について飼い主さんからいただいたお便り「うちの子自慢！」の内容紹介など、情報満載でお届けしています。「うちの子自慢！」では当協会の職員たちが将来の幸せを祈りつつ大切に世話をした子たちのその後の暮らしぶりや、おうちの人たちから愛情をめいっぱい受けている様子を知ることができ、顔をほころばせながら編集に力をいれてきました。

昨年から人における新型コロナウイルスの感染拡大が深刻な事態となり、未だ終息を見ない状況下ですが、自宅で過ごされる機会が多くなったことも一因となり、癒しを求めて家庭で動物を飼育する人が増えたそうです。人の生活に潤いを与えてくれる動物の存在が証明されたようで、重い空気の中、明るい気持ちになっていましたが、一方では、飼育してみたものの想像していたより世話が大変などの理由から飼育放棄される動物も増えたという報道を耳にし、残念な思いもします。新型コロナウイルス感染拡大初期のころは未知のことが多く、飼育動物からウイルスが検出されたという情報もあり、動物を飼育されている方の中には不安をいだかれる方もおられるだろうと、早速職員が情報収集してわんにゃん広場に関連情報を掲載、タイムリーな話題も取り上げてきました。（第９７号に掲載、ホームページからも閲覧可能）

当協会は個人・法人の賛助会員の皆様、寄付を頂いた皆様やご協力頂いている動物病院等、皆様のご厚意により、不妊手術助成事業の実績も伸ばすことができました。また、わんにゃん広場の紙質や印刷の改善をはかり、より読みやすいものとして、今回で１００回目を発行することができました。この機会に誌面をお借りして御礼申し上げます。

今後もさらに誌面の内容を充実させ、喜んで頂ける情報をお届けしていきたいと思います。

理事長　柴山　隆史

動物愛護パネル展が開催されました

令和３年１月 25 日から１月３１日の７日間、草津市のアル・プラザ草津において、「知っていますか？動物保護管理センター」と題して、動物愛護パネル展が開催されました。愛犬や愛猫が行方不明になってしまった時の連絡方法や保護された犬や猫を家庭に迎えるためにはどうすればよいか、また、野良猫トラブルの解決方法についての説明パネルの展示が行われました。

動物慰霊祭について

昨年度は中止とさせていただきました動物慰霊祭を、今年度は令和３年３月 24 日（水）に新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、規模を縮小し、センター・協会職員のみの出席で開催いたします。